

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 はぐハウスⅡ

公表日 2026年5月7日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	活動やリハビリを行うスペースを確保出来ている。	基準以上のスペースは確保し、バギーや座位保持椅子の置き場など環境整備しスペースを広げていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	基準配置以上の専門職を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	構造上出来ない箇所もあるが、安全を配慮して支援している。	常に安全、快適に過ごしていただけるように整理整頓を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	食毒、掃除を毎日行っている。	常に安全、快適に過ごしていただけるように整理整頓を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	オムツ交換時などついたてを使用してプライバシーを保持している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎月会議を行っている。	全職員に周知を努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	ホームページに公開しています。	全職員に周知を努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎朝ミーティングを行い意見交換を行っている。	参加出来なかったスタッフにはお伝えし、周知してもらう。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		第三者による外部評価を行うことを検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	施設内外研修に参加しております。	参加出来なかったスタッフには資料を渡し、周知してもらう。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	保育士、理学療法士が中心に行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	季節の行事で集団活動を取り入れている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	発達支援を中心に特性に応じて具体的な支援内容を設定している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画の内容に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		毎月の記録を職員同士で共有を行っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	発達支援を中心に特性に応じて具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	保育士、理学療法士が中心に行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	計画的に行っている。	全職員に周知を努めます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	発達に合わせて 集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼で行っている。 参加出来ない職員は申し送りしている。	参加出来ないスタッフは記録を残し 周知してもらう。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	支援終了後は職員が揃うことが難しい為、 日々の記録を残し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	送迎時の申し送り等で 情報共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	必要に応じてモニタリングを 行っている。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達管理責任者に限らず状況に合わせ 必要と考える者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	他事業所、関係機関とのじょうほう	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		対面で情報共有が出来るように努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		送迎時に情報共有を 行っています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		検討していきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	活動の機会はないが施設周辺での散歩などの 活動により地域の子たちと接する機会を もっている。	積極的に機会を持っていきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎の際保護者と情報交換している。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時説明を行っている。	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		積極的に機会を持っていきます。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	児童発達支援計画案を示し、 保護者様の同意を得ている。	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	モニタリングや相談の連絡があった際 助言を行っている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	今年度から保護者会を実施し、 保護者同士での交流を行えている。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		相談があった際は、職員感で話し合い 保護者に説明している。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	Instagramで 毎日の遊びを発信している。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	取り扱いには十分注意し 同意書に沿って使用している。	

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個々に合わせて意思疎通、情報伝達に努めている。	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		検討していきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	いつでも閲覧できるようにしている訓練は定期的に職員、お子様参加にて行っている。	マニュアルをスタッフに周知してもらう。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	訓練は年間計画の中で立案し、児童と一緒にしている。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時の確認と医療連携用紙の更新時、変更があった際の確認を徹底している。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	医師からの指示書をいただき保護者様からも聞き取りを行い対応している。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		避難訓練、消防訓練は年間計画の中で立案し、児童と一緒にしている。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		御家族様と連携を図っていきます。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	全職員が積極的に取り組み事例検討を行っている。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	外部研修への参加と施設内での研修を行っている。	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	支援計画への記載と職員間での検討、保護者への説明と確認同意のもと行っている。	